

ほうじん報告書

第20号 平成27年度上期

平成27年6月発行
特定非営利活動法人こころ

URL <http://www.hcc-kokoro.jp/>

ハートケアセンターこころ・こむぎ・相談室こころ

〒428-0007 島田市島 581 番地の 14

TEL 0547-46-5561 FAX 0547-46-5566

・りなむ : 島田市金谷中町 2100 番地の 1

TEL 0547-46-1687 FAX 0547-45-5165

・さがら作業所 : 牧之原市菅ヶ谷 219 番地 1

TEL 0548-52-7447 FAX 0548-28-6622

・地活はぐるま・あじさい : 牧之原市勝俣 1926 番地 1

TEL 0548-22-5529 FAX 0548-23-9340

幼児・児童期の『NPO法人こころ』から 次のステップ思春期へ

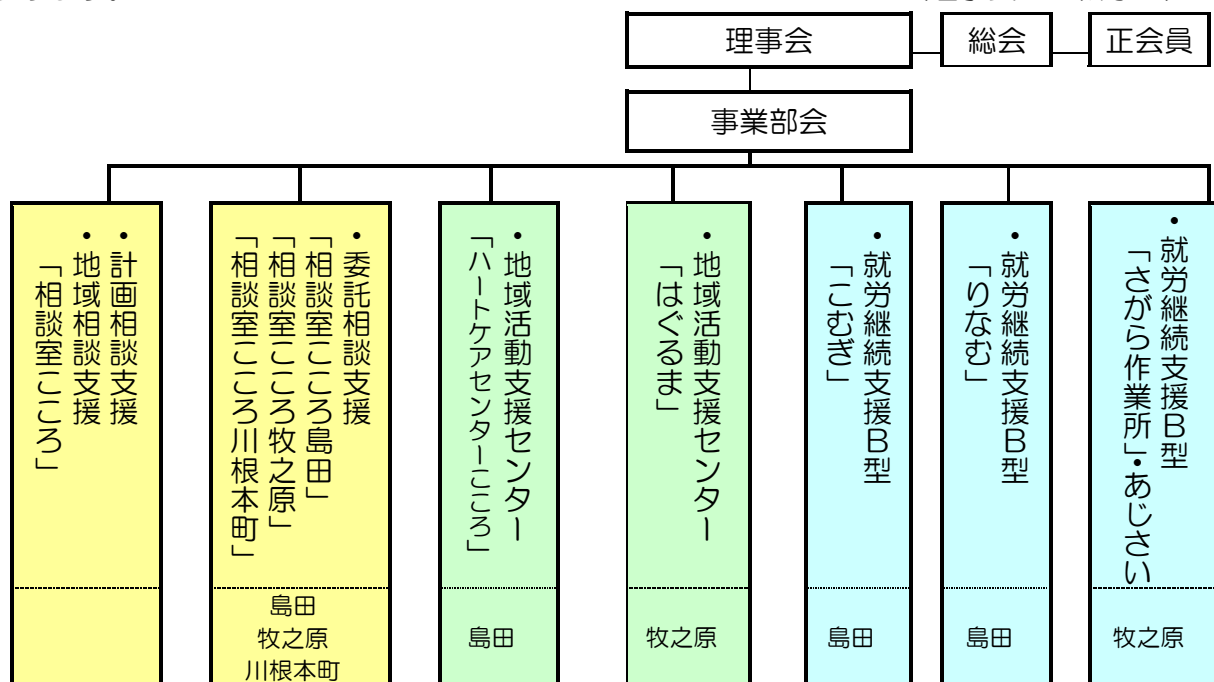
当法人も 12 年目を走り出したところです。12 年といえば人生のライフステージでは思春期に入ろうとする時期でもあります。児童期だった今までは、とにかく動きと変化が激しく目まぐるしい毎年でありました。

特に昨年度は『さがら作業所（就労継続支援 B 型事業）』の移転・新築と、分散していた『りなむ（就労継続支援 B 型事業）』の移転合体という、ハード面での大事業を体験しました。これらの 2 事業所とも、新しい地で順調な滑り出しをしているところであります。

さて思春期に突入のこれからも、いろいろと課題が待ち受けております。その一つは牧之原市（榛原）の『はぐるま・あじさい』の施設改善の問題です。利用者の増加により現施設では限界です。利用者の皆さんに安心かつ快適な場の提供を法人として考えなければなりません。また時代や地域のニーズに応えるため新事業も検討していく必要もあるでしょう。しかしこれらは法人の問題のみでなく憲法が保障している国の課題であることも忘れてはなりません。

施設・環境改善も大事なことですが、当法人として最も大事に考えていることはサービス（支援）の質の向上です。本事業に従事する一人ひとりが、ソーシャルワークで最も大切にしている『人と人との関係性』等をはじめ支援に関する様々のことを学習研鑽し実践することです。このことは『こころ』が常に重点としているところです。幾つか挙げたこれらを具体化するためにも、前々から懸案としてきた社会福祉法人化を含め法人の組織強化を図らねばなりません。これまた大きな課題です。まさしく思春期から青年期（成人期）に向っての苦難な道程でもありましよう。でも歩みを進めて参ります。

(理事長：山城厚生)



「さがら作業所」を移転しました。

作業場所・駐車所とも手狭で耐震性の心配があった「さがら作業所」を国・静岡県・牧之原市の補助を受けて牧之原市菅ヶ谷（相良バイパス・菅山インター近く）に移転しました。

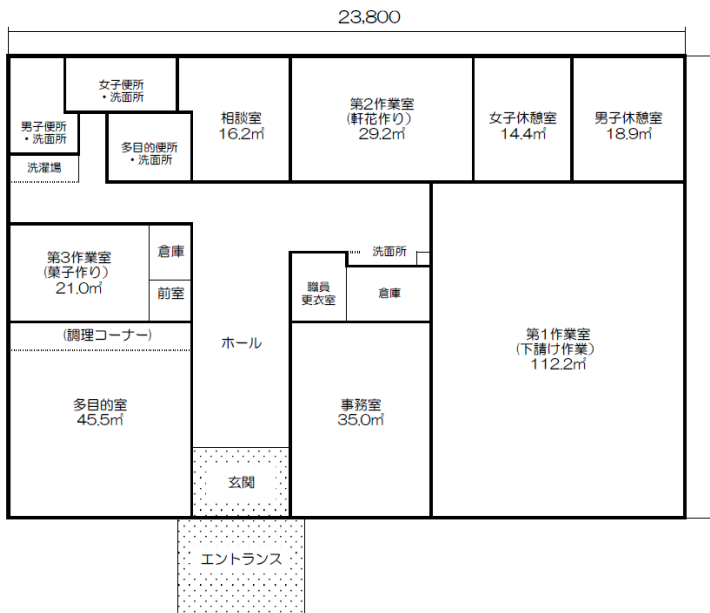
移転日：平成 27 年 4 月 1 日

移転先：牧之原市菅ヶ谷 219 番地 1、他 3 筆

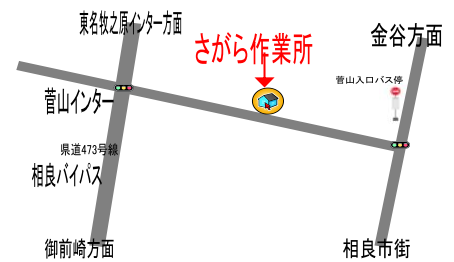
土地：当法人所有（1,755.57 m²）

建屋：当法人所有（鉄骨造 1 階建、 延べ面積 392.7 m²）

さがら作業所平面図



作業所全景



第1作業室



第3作業室



多目的室



相談室



手洗い場



4月10日落成式

更なる成長を目指して

昨年度より、当法人にとって大きな事業展開として、「りなむ」と「さがら作業所」が新しい場所での活動が開始されたことです。現在は、移転からまだ日も浅く、物理的な課題の解消に留まっていますが、今後、地域に根ざした、地域の方々と共に地域をつくっていくことができる事業所へと更なる成長を遂げていかなければいけません。そのためには、この1年の活動の意味は大きいと思います。その一つの具体的な取り組みとして、例年、ハートケアセンターところで実施している「夏祭り」を、今年度は「さがら作業所」で開催を予定しています。新しい場所で、地域の方々と連携しながら、ここを発信していきたいと思っています。

また、各事業も活動の中からたくさんの強みが、発揮できるようになってきています。しかし、一方で課題も出てきています。(各事業報告等でご確認ください)それは、当法人がさらに成長するための種でもあります。各事業共に、具体的な活動目標を掲げ、その実現に向けて取り組んでいきたいと思っています。

これらの活動を実行していくためには、そこにかかわるスタッフすべての、支援の質の向上が重要です。今年度は、法人活動の重点目標にある、OJTの仕組みをつくり、研修体系の整理をし、来年度以降に本格的に実施できるようその準備の1年と位置付けています。

当法人は、1年1年着実に成長してきています。そのあゆみをとめることのないように、本年度も取り組んでいきたいと思っています

(施設長：菅原小夜子)

平成26年度の報告と平成27年度の目標

1. 相談室(相談支援事業)

相談支援事業の体制について、牧之原市、川根本町は昨年度同様に実施しますが、島田市においては、委託と特定を兼ねながら支援を行ってきたのが現状でした。今年度は、それぞれの担当を整理し、可能な限り事業が重ならないように役割分担をし、3.25 人工(委託：1.25 特定：2)の体制で行っていききたいと思っています。また、個別支援のみならず自立支援協議会にも積極的にかかわり、本来のソーシャルワークの実践を積み上げていききたいと思っています。

さらに、榛南榛北相談支援事業所連絡会(通称：れおーねの会)での活動も継続的に実施し、地域の中核となる相談支援事業所集団となることを目指していけるように連携を深めていききたいと思っています。

【平成27年度活動目標】

- ・個別支援を通して、地域の課題を整理し、各市町の協議会へつなげる

(管理者：菅原小夜子)

2. 地域活動支援センター事業

1)ハートケアセンター(島田市補助事業)：基礎事業+機能強化Ⅰ型

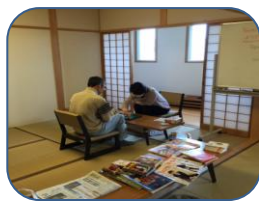
地域活動支援センター事業は、実施当初は、「とにかく家以外で過ごす場所」としての役割が大きく、通われる方々のニーズも同様でした。しかし、それから10年以上が経過し、地域で暮らす障害のある方々のニーズも多様化してきています。そして、この間、地域の中では様々な障害福祉サービスが展開されるようになり、その数も十分とは言えないまでも増加してきています。こうした背景の中、昨年からはテラライトを実施してきましたが、利用者の数はまだまだ少なく、地域に点在させるだけがニーズの充足の手立てには不十分であることが見えてきました。

そこで、今年度は、地域活動支援センターのあり方を検証し、法人の地域生活支援の理念をおさ
えながらも、障害のある方々のニーズをとらえた活動を展開していきたいと考えています。

【平成 27 年度活動目標】

- ・地域活動支援センターのあり方を検討し、方向性を示す

(管理者：菅原小夜子)



サテライト



お花見



パレボール中部大会



柏餅作り

2) 地域活動支援センターはぐるま (牧之原市補助事業)：基礎事業＋機能強化Ⅱ型

同一建屋内にある就労継続支援 B 型事業「あじさい」立ち上げ当初は、その併用の利用者が大半
を占めていましたが、徐々に地域活動支援センターのみ利用される方も増え、それぞれの事業の機
能が生かされつつあるように感じます。

しかし、利用者の増加は物理的には非常に手狭な状況となっています。今後、多くの方々のニ
ーズにあう環境を提供していくためには、具体的に物理的環境整備を実施していかなければなりませ
ん。現在利用されている方々に対し、同様なサービスを提供できることを保障するための工夫を含
めて検討をしていきたいと思ひます。

【平成 27 年度活動目標】

- ・物理的環境整備を実施する

(管理者：菅原小夜子)



初詣



川崎小学校との交流



お花見



近隣の清掃

3. 就労支援事業

1) りなむ(就労継続支援 B 型事業)

平成 26 年度期初 14 名でスタートした「りなむ」は、期中には 16 名に
増え、その後就職、退所、入所を経て 13 名で年度末を迎えることとなりま
した。就職をした 3 名については、りなむでの経験を「働く力」として面接
でアピールし、自立への第一歩を踏み出していきました。



りなむの花

「りなむ」の作業は、たくさんの種類があります。メンバーは皆、今日は自分がどこでどんな作
業をやるのか、そこでどんな役割が自分にあるのかを日々考えて生活をしています。

自分に与えられた、やるべきことを自覚し責任をもって作業にあたること、その積み重ねが「働
く力」となっていきます。そしてそれが、少しでも多くの工賃に結びつくことで、さらに「働きた
い」という気持ちが高まります。その気持ちが結集し、平成 26 年度目標工賃を達成することがで
きました。平成 27 年度は、昨年 11 月に引っ越しした新しい建屋にも慣れ、新しいメンバーも加
わり 4 月現在 15 名が毎日生き生きと作業をしています。

【平成 27 年度活動目標】

- ① 各作業の場所それぞれの特徴を生かした、「りなむ」らしい支援を目指す。
 - ・メンバーがパンやランチなどの作業を、自力でできるようにし、働く楽しみを知る。
 - ・地域の方々やお客様との関わりの中でコミュニケーション能力をアップする。
 - ・根気を養う下請け作業と、さまざまな技能を身に付ける施設外支援（清掃・工芸等）の場所を確保する。
- ② 法人の自主製品におけるコンセプトに沿い、安心、安全な良い製品を作ることで、工賃アップを目指す。

※「りなむ」は麻糸を採るハーブの種類です。今年度もたくさんの人の心をつないでいきます。

（管理者：柳川久子）



KKP 春の市



茶話会（リアル野球盤）



下請け作業



金谷ふれあいバザー

2)こむぎ（就労継続支援 B 型事業）

平成 26 年度の「こむぎ」は、いろいろ試した年でした。

前半は下請作業に追われる毎日でしたが、利用率も段々と安定してきた夏頃から工賃アップを図るためにも、個人の自己実現を応援するためにも、何をどのように取り組めばよいのかを話し合いました。その結果、今までは、下請作業による収入が約 9 割を占めていた状況から自主製品部門や施設外作業（廃品回収、高齢者グループホームの清掃など）にも力をいれていこうということになりました。

そこで、「主役はメンバー」を合言葉に、ミーティングの機会を多くもちました。

具体的には、自主製品部門の強化として、以下 2 点について話し合いました。

- ① せんべい作りについて（目的、目標など）
- ② 縫製品の企画について（目的、目標、方法など）

①のせんべい作りについては、年 1 回行われる授産製品コンクールへの参加に向けて試作を重ねながらプレゼンの練習も行い自信をもって臨むことができました。②の縫製品については、3 月に販売することができ、その経験をもとに消費者の動向にも目を向けながらブランドの確立に向けて試行錯誤しつつ進めています。

初めての経験がみんなの自信にもつながり、その後のイベント活動（市役所でのにじいろ市場や金谷産業祭、島ママフリーマーケット等）で、年間売り上げ前年度比 28 万円アップという大きな成果としてあらわれました。また、県の実地指導の年でもありましたが、県より「精神の場合は、安定的な利用が難しいと言われますが、利用率が安定している理由は何ですか？」と聞かれました。

「職員が丁寧に個別支援を行っているからだと思います」と自信を持ってこたえることができました。これは当法人として大切にしている支援の理念「ピアカウンセリングの精神」が根付いてきているのだと思います。

【平成 27 年度活動目標】

- ① 利用率の安定と「やりがい」「自信」につながる作業の確立
 - ・作業環境を整え、個人の意思を尊重した支援を心がける
 - ・ミーティングの定例化により主体性を高めていく

② 工賃アップ

- ・収入バランス（下請部門、自主製品部門、施設外支援）をメンバーの力量に応じた内容になるように見直し、工賃アップを目指す
- ・自主製品部門については、昨年までの経験を活かす形でチャレンジしていく。

（管理者：渡邊里佳）



マナビィ祭りで販売



茶話会



せんべい焼き



下請作業

3) さがら作業所(就労継続支援 B 型事業) さがら作業所(主たる事業所)・あじさい(従たる事業所)

念願の新しい建物で年度をスタートすることができた事を皆様に感謝いたします。これまでの福岡地区の方々の御支援に感謝するとともに、新天地でも地域の方々に活動を理解してもらえるように、地域の方々に事業所へ来てもらう工夫をするなど、交流の機会をつくり始めています。

今年は夏祭りをさがらで行う予定でもあり、もっともっと事業所からの発信をしていきたいと思っています。また、利用者主体の活動を利用者と支援者で考えながら取り組んできました。利用者のことを考えながらとはいえ、支援者主導の支援に利用者が従うという、どうしてもそういう考えにならざるを得なかった時代を生きてきた多くの利用者には、「ちょっとめんどくさいな」と思う近年の状況だと思えます。しかし、主体的に取り組み、紆余曲折しながらも出来たという喜び、達成感、利用者にも職員にも自信となり、今後の大きな力になっていくことと思えます。利用実績は、定員 30 人に対して、1 日 20,1 人の利用と低迷していますが、年度途中で、2 名の方が就職したため退所しています。整った設備の事業所で、より質の高いサービスを提供することにより、利用実績を伸ばしていきたいと考えています。

あじさいは、個々の働き方や働くことの意義を考えていこうという目標を掲げて、スタートしました。個人のペースに合わせて働く事業所として確立してきましたが、この 1 年で大きく変化しました。作業に取り組む姿勢、遂行能力、責任感等格段の違いが見られます。それを利用者自身が考え、月に一度のミーティングでも話題にしながら取り組んでいることは素晴らしいと感じています。そんな変化もあって、工賃収入も増え、ボーナスの支給もできました。利用者のそんな姿勢に対して、もっと働きやすい環境をつくっていくことが急務と考えています。狭い作業室ではありますが、定員 10 人に対して、1 日 10,4 人の利用実績でした。

【平成 27 年度活動目標】

さがら作業所	① 地域の方々との交流を積極的にして、啓発していく。 ② 自主製品であるお菓子、パンの製造販売量を増やして工賃アップを目指す。
あじさい	① 安全で働きやすい環境をつくる為に、建物の移転を検討する。 ② 個々の働き方をともに考えながらも工賃アップを目指す。

（管理者：高塚むつ代）



あじさい：泰善寺販売



さがら：お菓子作り



さがら：下請け作業



さがら：休憩中

平成 27 年 1 月～5 月の主な法人イベント報告

1. いいこと発表会+健康づくり講演会：3月14日（牧之原市坂部区民センター）

第一部は今年で3回目になる各事業所の利用者が行っている「いいこと発表会」と、昨年に引き続き行っている各事業所の「魅力発信」でした。160名の聴講がありどの事業所も地域貢献した「いいこと」を継続的に行っており、メンバーが主体的に考える活動になっていました。「魅力発信」はそれぞれの事業所が自分たちの声を活かした発表となり、こころの魅力をメンバー1人1人が、地域とのかかわりの変化や、新天地での夢を語ってくれました。



第二部の「人間は、だれも同じ誰も違う」講演会は、角替弘志先生を招いての講演会で約80人の聴講者がありました。

2. 第13回総会：5月23日（ハートケアセンターこころ）

5月23日、平成27年度NPO法人こころの総会が10名の来賓者をお迎えして開催しました。来賓者の励ましのお言葉の後、平成26年度事業報告書・活動計算書等の報告及び平成27年度役員改選案・事業計画案・活動計算計画案の提議を行ない、計画案について満場一致の賛同を得る事ができました。

今後の主な法人主催イベント 詳細は後日、こころ通信、ホームページ等に掲載します。

8月8日(土)	夏祭り	さがら作業所	一般
9月5日(土)	健康づくり講演会	未定	一般
11月13日(金)	法人内交流会	静波体育館	こころ利用登録者
12月5日(土)	もちつき大会	ハートケアセンターこころ	一般
1月23日(土)	いいこと発表会	未定	一般

助成ありがとうございました。 平成27年1月～5月分

・イーパーツ：パソコン3台 ・金谷出身者：パソコン2台

ご寄付ありがとうございました。 平成27年1月～5月分 順不同・敬称略

大崎初枝	杉浦寛治	川崎小学校
三浦守	地頭方区	新庄女性の会
パーククラブ	羽深剛	シアクラブ 牧之原相良支部
八木かよ子	高桑義雄	みどり会：卓球台
杉浦将由	杉山	

2月に武井さんの寄付をもとに購入した7人乗りの車です、利用者の送迎に使用しています。有難うございました。



イベント等の寄付は記載してありません。

賛助金ありがとうございました。 平成27年1月～5月分 順不同・敬称略

(株)オーイシ	高木敬	福地美和子	中村真理子
森下美子	伊藤茂		

外注作業紹介のお願い

- ・ 就労継続支援B型事業は安定して継続できる仕事を探しています。ご紹介ください。
(草取り作業、農作業、袋つめ作業、シール貼り作業、部品組立てなどの軽作業)
- ・ アルミ缶・古紙(ダンボール、新聞紙、雑誌、雑紙)の回収

こころの自主製品

自主製品のお問い合わせは下表の各事業所にお電話下さい。

こむぎ りなむ さがら作業所 あじさい	島田市島 581-14 島田市金谷中町 2100-1 牧之原市菅ヶ谷 219-1 牧之原市勝俣 1926-1	(0547-46-5568) (0547-46-1687) (0548-52-7447) (0548-22-5529)	ベーカリー・うえる カフェ・みれっと カフェ・きいちご 喫茶ル・ヴェール	島田市金谷中町 2100-1 金谷南交流センター内 島田市こども館内 牧之原市さざんか内	
石けん		石けんハーフセット		パン	
648円/個～	1,944円	パン：110円～160円			
トイレットペーパー		乾燥系こんにやく		軒花	
80円/個	10個入り：540円	60円			
おからと胡麻のチュイール		せんべい		フランスせんべい	
110円	100円/(2枚)	110円			
スープ		キーマカレー		おさるさん	
210円	550円	2,000円～3,500円			